



いばらき防犯ファイル R7 No.37

住宅侵入窃盗事件発生状況

令和7年7月末 **788件** (前年比+182件) ※ 暫定値



● 手口別発生状況



手口別では、忍込みの増加数が最多

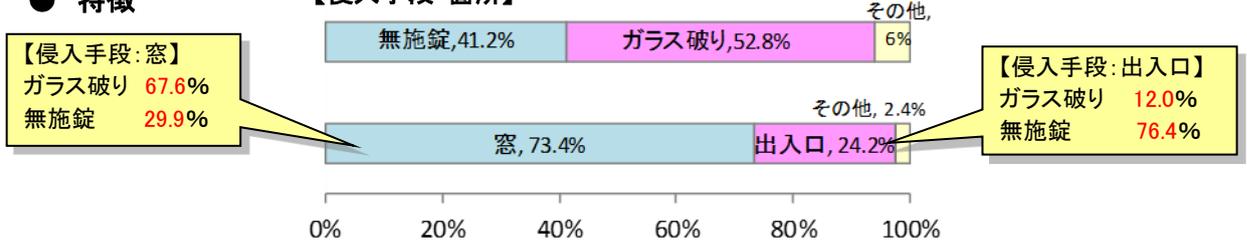
※【住宅侵入窃盗】

- 空き巣： 家人等が不在の住宅の屋内に侵入し金品を盗むこと
- 忍込み： 夜間家人等の就寝時に住宅の屋内に侵入し、金品を盗むこと
- 居空き： 家人等が在宅中に住宅の屋内に侵入し、金品を盗むこと

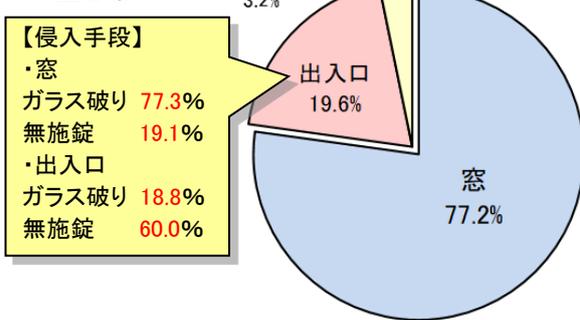
※ 住宅侵入窃盗の人口10万人当たりの認知件数(犯罪率)は、**28.1件**で全国ワースト2位(1位 群馬県 **36.3件**)となっています。

● 特徴

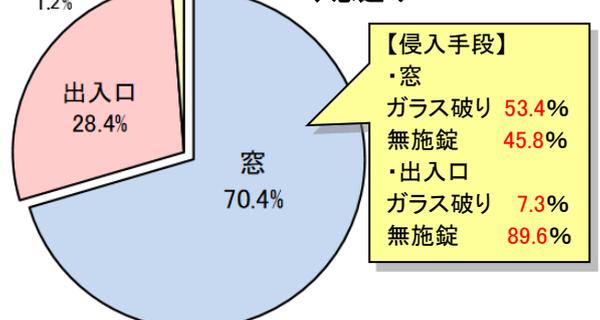
【侵入手段・箇所】



◆ 空き巣



◆ 忍込み



防犯メモ

夜間、就寝時間帯を狙った忍込みが増加しています。就寝前に玄関や窓の施錠を再確認しましょう。また、窓の3割弱、出入口の8割弱が無施錠の状態です。外出する際は、たとえ少しの時間でも、確実に鍵を掛けましょう。

また、窓ガラスを破壊して侵入するケースが増えています。窓ガラスには、**防犯フィルム**、サッシには**補助錠**等の対策を施して侵入されにくくしましょう。センサーライトや防犯カメラ、警報器等の防犯装置を活用しましょう。

※防犯性能に優れた「CPマーク」表示のある窓に交換することも被害の防止に効果的です。

「CP」Crime Prevention (防犯) の頭文字

